

スーパー耐久岡山400kmレース C-WEST ORCアドバンZ (Motul)がST3クラスで優勝、チャンピオンを決める！ ST2クラスはFUJITSUBO hpi IMPREZA (Motul)が2位。 ランキングトップに！

9月10日、11日に岡山国際サーキットにてSuper耐久シリーズ第6戦、「スーパー耐久岡山400km」が行われた。岡山国際サーキットは、昨年までTIサーキット英田という名称で親しまれた1周約3.7kmのコンパクトなコース。インフィールドのタイトなコーナーの連続は、タイヤ、ブレーキ、燃費など車両に厳しく、シリーズ中の完走率も低いイベントとなることから、車両の耐久性が問われるレースである。

レースは台風14号の通過後となり、予選までは秋晴れで残暑が厳しい状況だった。ST3クラスの#23C-WEST ORCアドバンZ (Motul)尾本直史 / 山田英二組は予選こそ6番手だったが、じわじわ順位を上げ、73周目にはトップに浮上。その後は更に後続を引き離しにかかり、見事5連勝を飾り、2戦を残し悲願のシリーズチャンピオンを獲得した。

一方、ST2クラスにプロバレーシングディビジョンからエントリーした、#2 FUJITSUBO hpi IMPREZA - Motul (吉田寿博 / 小泉和寛) と、#63 WING PERMAGARD IMPREZA - Motul (樋口統也 / 清水和夫 / 池田昌弘) は、十勝から高速安定性と冷却性能の向上した空力パーツを投入したこともあり、クラス優勝の可能性にも大いに期待が掛かっていた。しかし終盤ペースがあがらず結果は惜しくも2位に終わる。ランキングトップだった#11オーリンズランサーがトラブルで下位に沈んだため、#2がシリーズポイントでトップに浮上。年間チャンピオンの可能性も視野に入り、今シーズン残る2戦に期待したい。

プロバでは8月にオイルを含む各テストを行い、タイヤ、ブレーキ、サスペンション等チェックを行い、満足なデータを得ている。今回は400kmのレースであったため、2台のインプレッサとも
エンジンオイルは、300Vクロノ10W-40
ミッションオイル GEAR FF LSD Type2
デフオイル GEARコンペティション 75w-140
を使用した。

吉田寿博選手(#2 FUJITSUBO hpi IMPREZA)
今シーズンも残り2戦しかありません。追う立場である僕たちに失うものはないので、ガンガン行ってランサーとのガチンコバトルを繰り広げたいです。攻めのレースをしながらノミスを心がけます。事前テストの結果も良かったし、トラブルなく走れば2年前のようにインプレッサの1-2フィニッシュも可能だと思っていましたが、ランサーには追いつけませんでした。でもシリーズチャンピオンになる為にも、今回2位は大きな意義があります、応援をよろしくお願いします。

次戦は10月2日、SUGOにて。

